

## 米国 内外景況感格差により貿易赤字が小幅縮小（07年1月貿易統計）

2007年3月9日(金)

～内需の堅調な欧州向け輸出が拡大した一方、輸入が減少した～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

 (03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

### 貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入		
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods	
06/08	▲689.15	▲749.61	+60.46	+2.3	+3.0	+2.0	+2.5	
				(+13.3)	(+15.7)	(+14.7)	(+9.5)	
06/09	▲646.03	▲703.87	+57.84	+0.5	+0.6	▲1.9	▲2.5	
06/10	▲589.25	▲651.19	+61.94	+0.4	▲0.1	▲2.8	▲3.4	
06/11	▲582.13	▲647.71	+65.58	+1.0	+0.9	+0.3	+0.3	
06/12	▲614.53	▲680.56	+66.03	+0.4	+0.4	+2.1	+2.4	
07/01	▲591.17	▲654.30	+63.13	+1.1	+1.7	▲0.5	▲0.7	

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出				輸入			
	産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4	産業資材	資本財	自動車	消費財
06/08	+3.1	+2.3	▲1.4	+2.2	+2.5	+3.1	+2.2	+1.5
06/09	+0.7	+4.2	▲7.1	▲3.2	▲2.4	▲6.4	▲1.7	+1.7
06/10	▲0.1	▲1.7	▲0.7	+3.7	▲3.4	▲10.2	▲1.4	+0.5
06/11	+1.2	▲1.4	+3.7	+1.4	+0.3	▲2.2	+2.0	+2.6
06/12	+0.2	▲1.1	+5.8	+1.1	+2.4	+3.6	+7.4	+1.6
07/01	+1.4	+1.3	▲7.2	+4.5	▲0.8	+0.7	▲6.4	▲3.5

(注) 季調済前月比伸び率。

\*1: Industrial supplies and materials

\*2: Capital goods, except automobiles

\*3: Automobiles vehicles, parts and engines

\*4: Consumer goods, except automobiles

	輸出						輸入					
	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国		日本	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国		日本
06/08	+15.5	+11.1	+15.1	+21.4	+10.4	+3.1	+14.5	+5.2	+19.4	+11.9	+14.7	+9.7
06/09	+18.9	+4.8	+16.4	+25.1	+21.8	+15.4	+8.4	▲3.9	+11.0	+2.0	+13.4	+9.3
06/10	+16.2	+6.4	+20.2	+18.5	+13.8	+12.4	+5.3	▲8.3	+7.9	+2.0	+13.7	+12.8
06/11	+15.9	+7.1	+17.0	+14.6	+20.0	+9.6	+4.4	▲5.6	+4.7	+1.4	+13.7	+8.6
06/12	+11.6	+2.5	+6.8	+14.4	+16.1	▲0.9	+3.2	▲9.4	▲0.9	+5.4	+9.5	+5.8
07/01	+14.0	+2.4	+9.2	+28.8	+13.9	+12.9	+3.8	▲6.3	▲3.1	+4.6	+11.8	+5.7

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

### 591.17億ドルと再び 500億ドル台に縮小

2007年1月の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は、591.17億ドルと市場コンセンサスの▲597億ドルを下回った(前月比▲3.8%)。サービス収支の黒字額が縮小したものの、財収支の赤字額が減少した。内需の堅調な欧州向け輸出が拡大した一方、在庫調整に伴い輸入が減少した。なお、12月は▲614.53億ドル(▲611.82億ドル)に上方改定された。

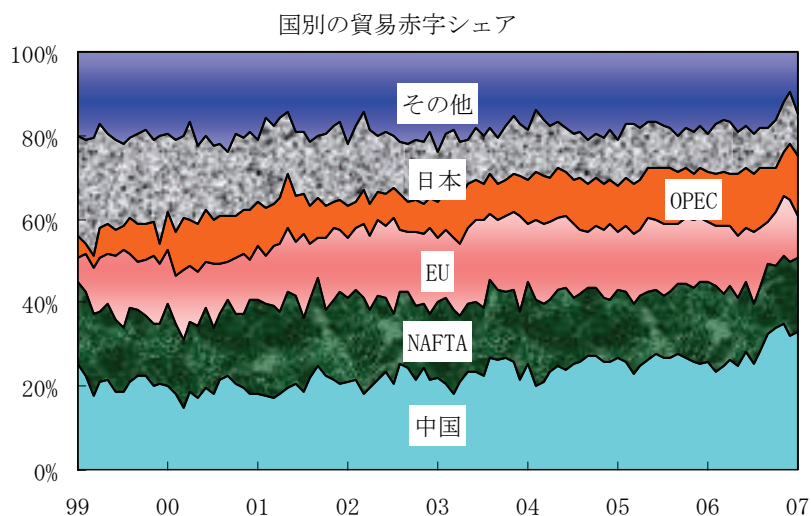
輸出は、自動車、石油掘削機、金属工作機械、貴金属、プラスチック材料が減少した一方、民間航空機・同部品、コンピューター、産業機器、半導体、燃料油、化学製品、核燃料が拡大したことにより前月比+1.1%と加速した。

輸入は自動車、消費財の減少により前月比▲0.5%とマイナスに転じた。財別では、

産業資材は原油、燃料油、石油製品、銅の増加によってプラスを維持した。原油輸入は、輸入価格が1バレル=52.23ドルと下落したものの輸入量が3億2010.8万バレルと前月から増加したことから、季節調整後の数字は前月比+6.2%と拡大した。資本財はコンピューター、産業機械、航空機等の増加により拡大した。一方、自動車は一時的に減少した。消費財はクリスマス商戦向けに増加したゲーム、アパレル、TV等が反動で減少し9ヵ月ぶりの縮小となった。

**元高にもかかわらず対中赤字が拡大**

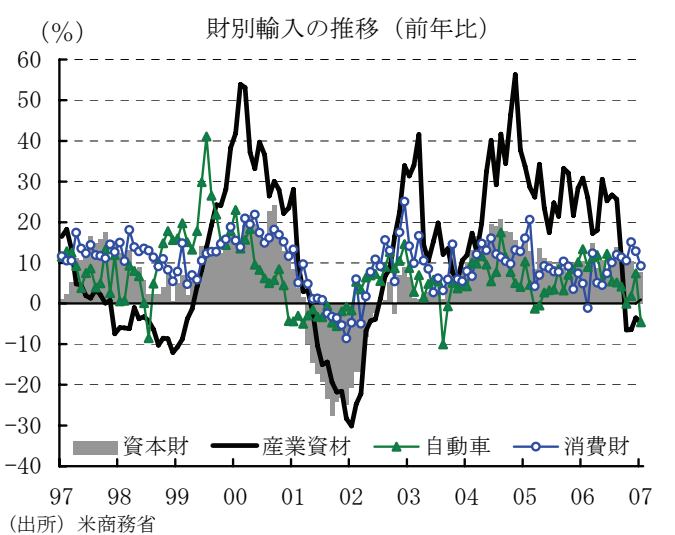
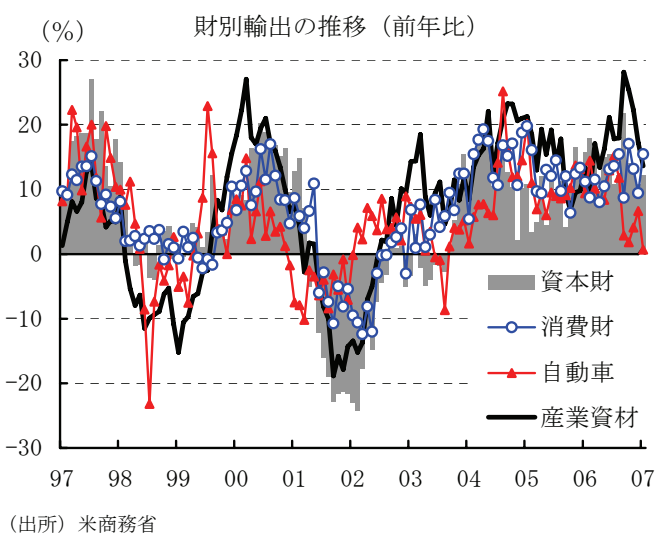
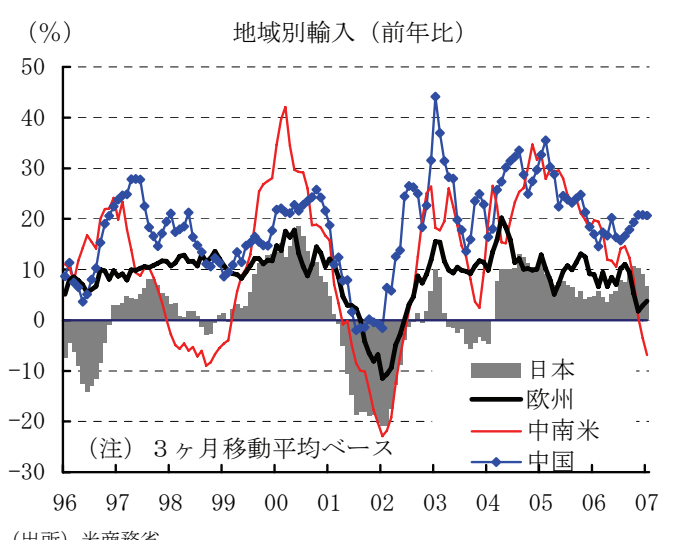
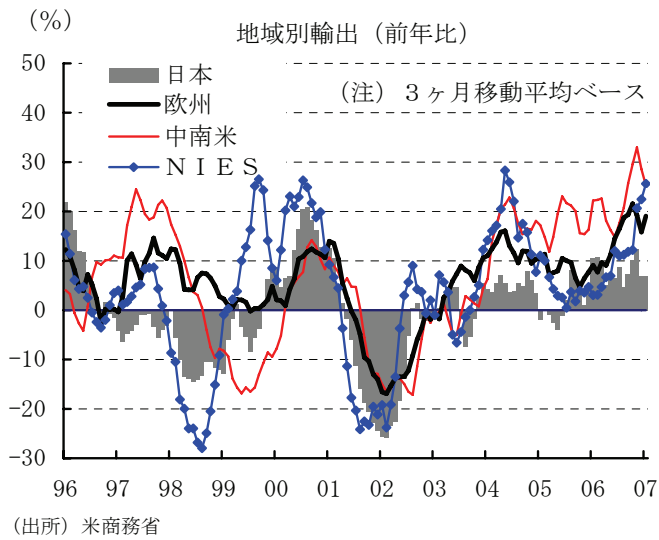
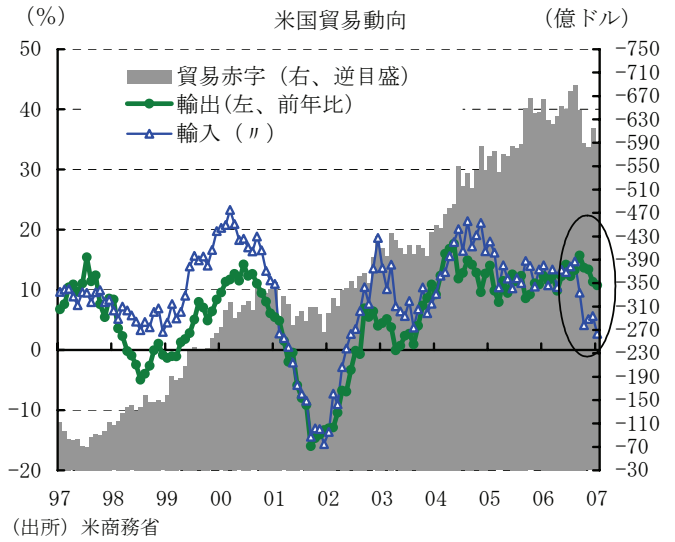
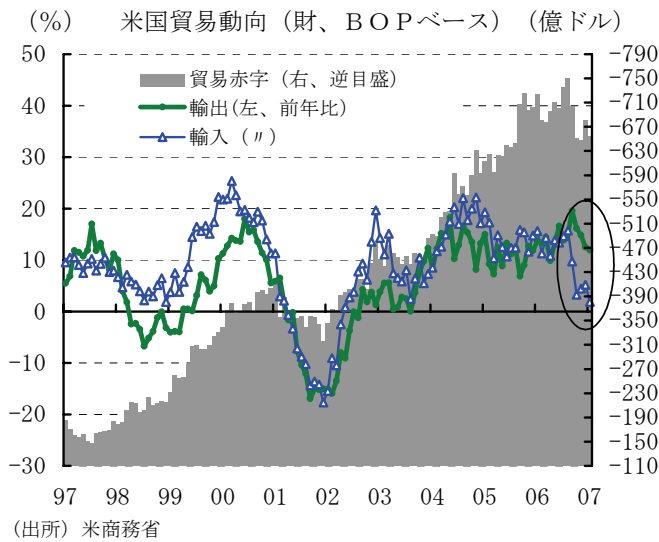
地域別収支では、対中国赤字額が▲212.71億ドル（前年比+18.8%）と前月から増加し貿易赤字全体に占める割合は32.9%に拡大した。対NAFTAが▲114.54億ドル（同▲15.7%）、対NIESが▲14.43億ドル（同▲33.6%）、対OPECは▲93.16億ドル（同+10.3%）と前月から赤字額が拡大した。一方、対日が▲64.99億ドル（同+0.7%）、対欧州が▲65.04億ドル（同▲33.2%）と赤字額が縮小した。



**貿易赤字は2007年前半小幅縮小にとどまる可能性**

今後、輸出はドル安効果、海外景気の拡大、これまで受注した民間航空機の出荷によって拡大基調を維持すると予想される。一方、輸入は足下での在庫調整によって抑制されるものの、堅調な個人消費を映じて緩やかな拡大基調を辿ろう。この結果、2007年前半の貿易赤字は小幅縮小にとどまると見込まれる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。